

10/2 第 18 回健康まつりが開催されました



市役所市民交流棟と保健センターで行われた「健康まつり」は、市民が健康に関心を持ち、健康づくりのきっかけになるよう開催されたものです。健康に関するさまざまなイベントやパネル展示、総合健診などが行われ、来場者は健康への意識を高めていました。

10/7 第 16 回全国ブロック選抜 U-12 体操競技選手権大会に出場



松山スポーツクラブアピシアに所属する石川 恋さん（三島小 6 年）は、6/27（日）に開催された第 28 回愛媛県ジュニア B 体操競技選手権大会兼全国四国小学生大会予選の女子個人総合で優勝し、11/13（土）から佐賀県で開催される全国大会に出場します。

10/6 ～ 10/11 シトラスリボンプロジェクト「コロナ禍での想い・願い展」開催



誰もが安心して暮らすことができる地域を目指し行われ、会場のしこちゅ〜ホールには、コロナ禍での想いを詠んだ心温まる俳句や、一人ひとりの優しい気持ちが集まった「多様性の樹」、土居中学校のみなさんが制作した「写真撮影ボード」などが展示されました。

10/14 丸住製紙株式会社が感染予防対策衛生用品を寄贈



丸住製紙グループの職域接種に対する協力へのお礼並びにコロナ禍における市の感染症対策への支援として、篠原 徹東京支社長からペーパータオル 400 個やアルコールウェットティッシュ 240 個、ノンアルコールウェットティッシュ 300 個が寄贈されました。

9/18 ～ 9/23 川之江城がライトアップ



この事業は、9 月の「世界アルツハイマー月間」に合わせ、認知症に対する理解を深め、支援の輪を広げようと企画されたもので、川之江城の天守が認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップされました。

9/27 宇摩美術会が坂田瑞来画伯の絵画を寄贈



宇摩美術会は、1996 年に結成され、本市の美術文化の発展向上に努められましたが、今年 5 月に解散することとなり、本市の文化振興に役立ててほしいとのことから、今回の寄贈となりました。この絵画は、図書館などの公共施設に巡回展示される予定です。

9/30 シルバー人材センターによる「地域交流訪問事業」が行われました



シルバー人材センターの会員と四国中央医療福祉総合学院の学生が交流しました。同センターの薦田敏良理事長が講師を務めた講演会では、看護学科の 2 年生が、センターの役割をはじめ、高齢者の活躍の場や生きがいづくりについて理解を深めていました。

9/22 第 52 回全国中学校柔道大会で準優勝



川之江北中学校柔道部の谷 吹希さん（2 年）が、男子個人 50kg 級において準優勝の成績を収めました。谷さんは全日本柔道連盟の強化選手に選ばれており、「合宿などを通して、全国の強い選手の技を学びたい」と抱負を述べました。

9/30 明治安田生命が寄付金を贈呈



明治安田生命保険相互会社松山支社（岸本正宏支社長）から寄付金が贈呈されました。この寄付金は、子育て支援に活用してほしいとの趣旨のもと、市内の公立保育園、こども園及び幼稚園の抗菌ソフトベンチ購入に充てられる予定です。

10/1 住宅金融支援機構が感謝状を贈呈



本市が、空き家対策などの課題解決を目指す住宅金融支援機構の取り組みに賛同し、連携を密にしながら取り組みを進めてきたことに対して、佐藤朝文四国支店長は「協力体制に感謝しています」と話され、篠原市長へ感謝状が贈られました。

市長のひとりごと
後半戦！がんばるぞー！
四国中央市長 篠原 実

コロナウイルス騒動下のオリンピック・パラリンピック、書道パフォーマンス甲子園、幻となった令和 2 年度成人式、地域の盆踊り、花火大会など、今年の夏もみんなの喜びや悲しみ、また憤怒も、背中に背負い胸にしまいながら、遠ざかりつつある。
振り返れば波間に光る太陽光線のごとく、一瞬のことではない。
毎日の仕事は、嫌われようが、好まれようが、腹をしっかりと据えて取り組まなければならない。毎日毎日、起きるたびに言い聞かせている。この時期、そう言いながら、太鼓の音が聞こえてこないのは寂しいね！
でも、みんな努力してくれて、里芋の伊予美人は好調と聞いている。
辛いことも、嬉しいことも、猛暑と一緒に心の隅に置いて、今年の後半戦がんばるぞー！

